

| | | | | | |
|----------|--|------|-----|-------|------|
| 授業科目 | 作業療法概論 | | | | |
| 担当者 | 辻 郁 (実務経験者) | | | | |
| 実務経験者の概要 | 作業療法士免許取得後、医療機関、保健行政で作業療法を実践してきた。特に保健行政では、身体障害、老年期障害、精神障害、発達障害、一般住民など多様な方々への作業療法を行ってきた | | | | |
| 学科名 | 作業療法学専攻 | 学 年 | 1 年 | 総単位数 | 1 単位 |
| | | 開講時期 | 前期 | 選択・必修 | 必修 |

■ 内 容

作業療法は人生活機能の改善・向上や活動性の発達・拡大を通して、社会参加の可能性を引き出す働きかけをする。本科目では講義、グループ学習を通して作業療法の基礎を学ぶ

■ 到達目標

- 1) 作業療法実践の枠組みがわかる
- 2) 作業療法実践の実際がわかる
- 3) 作業療法を専門用語を使って説明できる

■ 授業計画

- 第1回 「作業」とは -作業療法にとっての「作業」の意味 作業と作業療法
 第2回 「作業」とは -作業療法にとっての「作業」の意味 作業療法の定義
 第3回 作業療法の原理
 第4回 リハビリテーションの歴史と作業療法
 第5回 作業療法の領域 作業療法の現場
 第6回 世界の作業療法
 第7回 作業療法の理論
 第8回 作業療法の理論
 第9回 作業療法の過程
 第10回 作業療法の過程
 第11回 作業療法の教育
 第12回 作業療法の記録と報告
 第13回 医療福祉制度と作業療法部門の管理・運営
 第14回 作業療法の実際
 第15回 作業療法の実際まとめと報告

■ 評価方法

小テスト (20%)、【科目試験 (筆記試験)】 (80%)
 講義内テストを含む全ての試験の際に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格 (留年) とする。

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

授業終了後のノート整理、小テストの事前学習に十分取り組むこと

■ 教科書

書 名：標準作業療法学・専門分野「作業療法概論」
 出版社：医学書院

■ 参考図書

書名：作業療法学全書・改訂版「作業療法評価学」
出版社：協同医書出版社

■ 留意事項

欠席しないように日頃の健康管理に留意すること 教科書を読む ノートをとる わからない点は積極的に質問する

■ 講義受講にあたって

最初の専門科目ですから、興味を持って授業に臨んで下さい。作業療法には分かりづらい或いは説明しづらい点もたくさんありますが、この科目を学ぶことによって作業療法を具体的に理解していきましょう。